

タウンと人間的な注意

THE TOWN AND HUMAN ATTENTION

Eugene T. Gendlin Ph.D.

(2006年8月25日、第一回フォーカシング・インスティテュート・サマースクールでの講演)

私たちは、人類のとてつもない発展のさなかに、あるいはそのはじまりにいます。私が伝えたいのは、ひとつには、希望をなくさないでほしいということです。私が生きてきた時間の中で——それはあなた方より長いかもしれませんが、大した違いではありません——、世界中の人々の上に、信じられないような発展が起こってきました。北部ガーナの、あなた方はその名を聞いたこともないような町では今、子どもは毎週土曜日には映画に行き、毎日テレビを観て、世の中に起こっている全てを知ることができます。これはものすごい発展です。世界の半分の人々は読み書きができますし、読み書きが広まっていない場所でもさまざまな事柄への意識は高くなっています。すべての人々がより同等になってきていますし、より発展しているのです。これが、第一に私が言いたいことです。

第二に、心理学的に洗練された何百万人かの人々の、もっと小さな発展があります。これは西洋や東洋に限らず、世界のあらゆるところで起こっています。私が言いたいのはこういうことです。あなたがバスに座ると、あなたの後ろの女性が友達に、たとえばこう言うのです、「私は彼の母親じゃないのよ！」と。あなたはそこに、ある程度の心理学的な教養があることに気がつくでしょう。もちろんこれは、全ての人にあてはまるわけではありません。しかしそれでも、より高い意識をもつ人々は、相当な数(一億人か、それとも…?)にのぼるでしょう。いわば、世界中の同胞から、「～法(methods、方法)」と呼ばれるたくさんのが伝わってきます。あらゆる種類の心理学的トレーニングが存在し、非暴力的なコミュニケーションと対話による精力的な相互作用が起こっています。この相互作用は、人間に発展とさらなる教養をもたらす、あらゆる事柄において起こっているのです。そしてこれは、世界的な規模で起こっています。私はこれを、ある種の少数派、創造的な少数派 a creative minority(そうあればと願います!)と呼ぼうと思います。

ひとつ喩えをあげましょう。300年か400年前、農業と工業の間に、いくつかの大変大きな変化が起こりました。この時期というのは、人々の基本的な活動が農業から工業に変化した時期です。以前は、農業は人々の労力の99.9%を必要としていました。食べ物を得るために、それだけの労力が必要だったのです。外的な興味に費やす時間を持っている人は、ほんのわずかでした。その後、変化が起こりました。農業に従事する必要がある人の割合は低くなり(おそらく世界の人口の5%といったところでしょう)、人口の95%は突然に、別のこと、新しいことをする自由を得たのです。この新しいこととは何だったのでしょうか。それは工業、商業、財政、その他の新しい領域でした。

世界は変化しました。内的にも外的にも変化したのです。内側と外側の分裂は、私たちが乗り越えていかなければならないものです。個人と社会の間の分裂、自分を発見することと対話することの分裂は、元来分裂しえないものです。しかし、外的な状況が変化したのです。

私は、例えばですが、工業のために全てが変化したのだと言っているのです。工場に働きにいった男、学校へ行った子ども、友達に会いにいった女——皆、全く別の人間になってしまいます。男が工場で会う人々は、もはや学校に行った子どもたちの親ではなく、女が町で会う友達とも無関係になってしまうのです。この新しい要素はすべてを分裂させ、生活のすべての状況を変えてしまいます。

そのため、ある人々は、外的な変化が人々の生活の変化を決定づけたのだと言います。しかし、変化には他の道筋もあります。人々のための、**人間的な発展**というものがあったのです。例えば、機械類の操作を覚えるということがそうです。彼らは説明書の読み方を学ぶ必要があり、強力な機械を注意深く扱うことを学ぶ必要があります。また、朝8時に、時間通りに仕事場に着くことを学ぶ必要もあります。なぜなら、工場は全員がそろっていないとちゃんと動かないからです。割り振られた組み立てラインがあり、もし二人ほどどこかに行ってしまうと、すべてがストップしてしまうのです！ですから、皆が携帯用の時計を買う必要がありますし、皆が数を習う必要があります。これは人々の、内的にも外的にも、ものすごい発展です。

同じことが今、再び起こっています。というのは、工場で働いて物を生産するのは、いまや世界の人口の5%で十分だからです。たとえば、いったいどれほどたくさんのものが中国で作られているか、考えてみてください。その

間、私たちはここで、何か別のことをしているのです。私たちは何をしているのでしょうか。新しい生産物は何でしょうか？

さて、ここまでのところ、私は自分が正しいと確信できます。ここから先はどうでしょうか——そのうちにわかるでしょう。私は、新しい生産物は**人間相互の注意・関心 INTERHUMAN ATTENTION** とよばれるものだと思います。発展した国で人々がおこなっていることは、**お互いに対して関心を払うこと**です。これをサービス産業と呼ぶ人もいます。ビジネス界と呼ばれているものもそうです。これは、一日中会議をしたり、お互いにメモを書いたりといった、たくさんのことを指しています。

私たちは今、ある段階にあります。これは特徴的な段階で、社会形態がまだ農業と関わっていた時代には(主たる活動はすでに農業ではなくなっており、農業からの解放が起こっていたのですが)長い時間を要したものです。当時、人々が生産物をマルセイユから地中海の港やパリへと輸送しようと思えば、人々は道すがら、20もの土地の所有者に料金を払わなければなりませんでした。人々はしょっちゅう足止めをうけ、生産物を輸送するために、わずらわしいあれやこれやをする必要がありました。なぜでしょうか。それは、**人々が互いに社会的な関係をもつために用いる「様式」**が、いまだに農業に由来するものだったからです。実際に行われていることは、もはや農業でなかったにもかかわらず。

さて、私は、私たちがまさに今、同じ段階にいるのだと言っているのです。高速道路にのると、毎朝8時半には職場へ向かう人であふれかえって、身動きが取れなくなります。本当は私たちは、9時までに着く必要などありません。そこにはもう、組み立てラインはないからです。あなたは家でパジャマを着たまま、メモを取っていたってよかったはずなのです。まあいいでしょう、組み立てラインはなくとも会議があって、しかし**私たちは身動きが取れず困っている**というわけです。おわかりのように、私たちは、時間単位で商売をしているのです。工業システムは時間労働で動いています。もちろん農場ではそうではありません。農場ではそもそも時間を数えるようなことはしないでしょう。冬にはこれこれのことをして、春になったら今度はこれ、夏にはまた別のことをするという具合です。しかし工業社会では、すべてを番号によって把握しなければなりません。時間、お金、交換、労働——すべてを、です。そして私たちはいまだに、人間的な関心を時間単位で売っているのです——それがセラピーと呼ばれています！——いささか馬鹿げたことですが、それが私たちが現在身を置いている様式なのです。実際には、あなたの存在

は交換してしまえるものではありません。人は時間を買うためではなく、あなたがいるからやってくるのです。しかしあなたが休暇をとる時には、あなたはこう言うわけです、「ですから四週間の間は、誰々先生にお会いなさい」。これは馬鹿げたことです！誰々先生はあなたの代わりにはならないのです。しかしこれが、「緊急の際に」私たちがとる方法です。私たちはまだ古い様式の中において、まだまだ長い間その中に留まろうとしているのです。

私は歴史を振り返って、進歩的な人々がそんな時何をしていたのか、思いをめぐらせます。今は私たちが進歩的な人々なのですが。進歩的な人間たちは、**その先**、どんなことをしてきたのでしょうか。

なによりもまず、彼らは町に住んでいました。一方、他の人たちは農地に住んでいました。そこで、私は新しい用語を導入して、私たち自身をこう呼ぼうと思います、**タウン**(町——THE TOWN)と。私はこの言葉に、フォーカシングに限らず、新しいすべての方法を含めています。新しいすべての方法、すべての心理学的教養、すべての相互作用トレーニング、すべてのセラピー、そういったもののすべて——これが**タウン**です。私たちは、自分たちが新しい生産物を生産しているのだということに意識的になる必要があります。その生産物とは、**人間的な注意、関心**です——この生産物は今はまだそれほど出来がよくありません。あまり質のいい関心とはいえないのです——今はまだ。

しかし、興味深い現象が起こっているようなのです。中世では、町の人々は農地を保持する人々にとって重要な存在でした。なぜなら、公爵——つまり、その地域全体を所有する人物——は町を必要としていたからです。そのため、町には特許状が与えられました。このことは、町が(町としての)多くの権利を得たことを意味しています。それらはとても重要な権利でした。もし、農地の所有者の所有する農奴たちが町に逃げ込んだら、農地の所有者は町の中に入って農奴たちを連れ戻すことはできませんでした。町が「権利」を持つということはそれだけ重要なことで、そのために町は育ち発展することができたのです。農地の保持者は町を必要としていました。それは、町が商業の中心地だったからです。農地の所有者が農場では得られない何かを得ようと思えば、町に頼らざるをえません。町は農地の所有者のために、ワイン、香辛料、絹、宝石類、そして彼が必要と考えるあらゆる種類の商品を取り寄せることができたのです。ですから土地の所有者は、町に対して寛大だったのです。ここまではいいですね？

現在、ビジネスの世界はこの新しい町、**タウン**に目を向けています。それは、関心の向け方を学ぶためです。これは、ビジネスでは全世界的に起きていることです。ビジネスの世界で起こる不具合の半分以上が、適切な配慮の失敗に関係していることは、よく知られています。適切な関心が必要とされており、関心の質を高めるためにお金が払われています。

私がお話しているのは、三つの、本当に重要な発展が起こっているということです。これらは別々のものではなく、ひとつが別のひとつの中に含まれる形になっています。第一に、人間という種における、幅広い発展があります。以前は極めて限られた少数の人にしか得られなかった情報が、今はあらゆる人々に利用可能になっています。第二に、この大きな発展の中に含まれる形で、私が「**タウン**」と呼ぶものがあります。これは独特な、新しい種類の人々であり、関心についての専門性、人間相互の関心の質を高めることの専門性を持っている人々です。そしてこのタウンの中に、第三の発展、フォーカシングがあります。私は、タウンの中心はフォーカシング、つまり私たちだと思っています。

この広範な人間の発展は、テレビと大きな関係があります。(最近では)インターネットとも関係がありますし、前にはラジオと関係がありました。たとえば、おそらく40年ぐらい前、中国の小作農は皆、小さなラジオを与えられました。もちろんそれは中央政府が人々を支配するためだったのですが、一方でそれによって人々は発展し、全世界について知識を得ました。彼らは、以前の彼らとは変わったのです。

タウンの人口は、割合としては小さいにしても、かなりの数、数百万にのぼります。そのすべてが、人間の新しいプロセス——心理学やスピリチュアルな領域、相互作用——に携わっています。これらのプロセスは、わずか二世代ばかり前には存在せず、まったく知られていなかったものです。今、タウンはこれらのプロセスを教えており、その中でもフォーカシングは、人間の発展、人間相互の関心のさらなる発展の主たるものなのです。

もちろん今私は、私たち自身を中心に置こうとしていますが、これは人間全体における流れなのです。私は、私たちが関心という生産物の質をまったく新しいレベルにまで高めつつあると思っています。そこで大事なものは、耳を傾けるということです。

アフガニスタンのすばらしい実例をあげましょう。そこで成し遂げられようとしていることは、現在起こっていることの中で最も重要なことのひとつだと私は思います。時間のある時に、ぜひウェブサイトのアフガニスタンのコーナーをクリックしてみてください(www.focusing.orgの中です)。アフガニスタンからの三つの報告が載っており、今後もさらに増えるでしょう。そこから、一つの実例をお話ししたいと思います。

これは、アフガニスタンから来た村落の女性が、ワークショップの後に言ったことです(このワークショップは村落の人々にフォーカシングを教えるもので、セラピストのためのものではありません)。彼女はこう言いました。「私が家に帰って病気のおじの話に耳を傾けていたら、おじは飲んでる薬を全部もってきて、私に見せたんです。私はおじの話をききました。おじはとても幸せそうで、心の内をすべて私に話してくれました。」

このように、今まさに起こっている大きな発展のさなかで、私たちがもたらすことのできるものがあるのです。それは、膨大なトレーニングや、ややこしい理論を必要とするものではありません。彼女は本質的な何か(誰かが自分の内面に向き合うのを助けるような傾聴)を学び、家に帰ってそれを実行しただけです。そしてそれは、すぐに役立つのです。

現在、支配力を持つ立場の人々——世界中に、さまざまな種類の支配力をもつ、さまざまな人々がいるわけですが——これらの人々は、まだこういったことを知りません。これらの人々はまだ、タウンから、耳を傾けたり相互作用したりする方法についての、より一般的な事柄を学んでいるところなのです。私の国では今、戦争集団が支配力を持っています。しかし彼らは、自分たちが何をしているのかを本当には知らないのです。彼らはまず、会議を開きます。実際のところをつきつめればわかることですが、彼らは、管理者がいつもするような仕方考え、計画し、物事を行っています。同じアイデアの使い回しです。彼らは、古い枠組み categories に収まるものしか扱えないのです。さてそうすると、何が起こるでしょうか。彼らはこう考えます。イランと戦争すべきか、否か。これこれの政府やこれこれの地域を支持するか、否か。彼らの計画にある選択肢はこのようにこま切れにされているので、状況に適切に対処する役には立ちません。彼らは、人類のとてつもなく大きな発展に気がついていないようです——彼らは、それについて考える「方法」を知らないようです。彼らはいまだに、小作農の上に爆弾を落としています。彼らは、自分が爆弾を落としている相手が、自分と同じような人間なのだということを理解していません。そういったことについての枠組みがな

いのです——今はまだ。しかし私たちは、それに枠組みを与えることができるのです。よろしいですか？

あなたがたは、物事が今よりもずっとよくなる時を、期待していいのです。どうか希望をなくさないでください。あなたが政治やビジネスの有力者にしっかり目を向ければ、これらの人々は欠けた部分を学ぼうとするでしょう。何か欠けているということは皆わかっているのです。私は、ビジネス紙のいくつかの記事が、物事はこれまでと同じではなく、繰り返してもない、物事を規則化してしまうことなどできないと伝えているのを読みました。世間には、小さなグループで物事を行おうという動きがあります。それは、トップダウンでさまざまな問題を管理することが、もはやうまくいかないことに気づいたからです。これまではそういったやり方がとられてきましたが、今では皆、その方法には「何か」が欠けていると言います。もちろん、何か欠けているのです！彼らは、お互いに関わる方法さえ知らないのです。ましてや、この新しい複雑な発展の全体については知る由もないでしょう。しかし私は、ここで話しているようなことが、現実に到来しつつあると信じています。そしてそれは、歴史上の他の物事よりもかなり速く進んでいると思います。あなたが生きていくうちにも、それはより速くなり、より先へと進むでしょう。私が最初にこういったことを始めた時、私はとても変わった人物と見られていました。私自身は変化していませんが、世界が大きく変化し、私は以前と比べて全然変ではなくなりました。あなたにもきっと同じことが起こるでしょう。

しかし、困難があることも指摘しておきたいと思います。私が話しているこの「タウン」は、自分自身に気づいていないのです。私たちは、自分たちが(いろいろなことを)教えているということ、耳を傾ける人には誰にでもそれを教えているということは自覚しています。村落だろうと管理する立場の人だろうと、そんなことは関係なく、誰にでも教えます。私たちは適切に教えています。しかし、お互いがタウンであるとは、考えてさえいないのです。私が「ああ、他の物も何でも学んでください、フォーカシングだけするのではなく」と言う時、私は「タウン」について語っているのです。私たちはいまだに、区別された個々のものとして自分たちを捉えています。もしあなたが私の言うことだけを学ぶのであれば、それは決して完全には真実ではありません。少なくとも5つ、あるいはそれ以上のものを学ぶ必要があります。

もし私たちが、自分が新しい種類の生産物を生産していることに気づけば、違う世界が開けるのです。それは今よりもずっといい世界であり、そこで

は人々はお互いを人間として意識します。全てが変わることでしょう。それは今すでに、変わりつつあります。しかしそれは、あなたが新聞に気分よく目を通せるほど速い変化ではありません。しかしどうか、新聞は読んでください。私の知っているフォーカシングをする人のうち、非常に多くが、新聞を読まなくなっています。これはとても胸の痛むことです。彼らは、新聞に載っているようなことについて、自分ではどうにもできないと感じているのです。

そこで、そこには何か**新鮮に考えること** fresh thinking があるのだということ、指摘しようと思います。

シカゴ大学の、優れた知性を持つ私の同僚たちは、自分が経済学について考えることはできないと信じています。彼らはそれをひとつの科学、自分には理解のできない科学として見ており、同時に高く評価しています。経済学は、私の同僚たちには理解のできないコンピューターモデルやグラフを用います。経済学が小さなグループにゆだねられるのはそのためです。もしあなたが公式の経済学者と話せば、彼らは自分が世界に対して実際何をしているかについて、何の考えも持っていない——そして、持とうとしていない——ことを発見するでしょう。彼らは、自分のしてほしいことをしてくれるコンピューターモデルを設計するのに忙しいのです。このコンピューターモデルは、主に銀行に予測と利益を与えるためにあります。しかしこれは、ある程度しか役に立ちません、全ての銀行が同じプログラムを使っている限り。

彼ら(よく知られた「彼ら」です)は、裕福な人々の税金を下げ、それを埋めるために社会支出額をカットしています。彼らは、経済活動を活発にし職を増やすために資金を投入すると言います。しかし「彼ら」は嘘をついています。彼らはこの点について、今や30年間(あるいはそれ以上)にも及んで嘘をつきつづけてきたのです。彼らの中には自分が嘘をついていることを知っている者もいますし、知らない者もいます。しかし**あなたは**、これについて考えることができます——経済のコンピューターモデルについてではなく、です(コンピューターモデルは、それを必要としている人の好きにさせておけばいいのです)。あなたは次のような事実について考えることができます。もし社会支出額がカットされたら、人々はより乏しいお金しか物を買うために使えません。そうしたら、企業はより多くの生産を行うための投資ができません。もしお金が循環しなければ、需要は下がり、企業はこの地ではより少ない生産しか行わなくなります。生産は増えません。そうすれば企業はこの地ではなく、海外に投資するでしょう。いったいなぜ、裕福な人々の税を下げるのが、より多くの投資と職を生み出すというのでしょうか。これが真実ではありません

えないということがわかりだと思えます。とてもシンプルなことです。もし経済学を目の前にしても、もう…そう、何というか…怖がらないでください。そういったところで、自分には何もできないとあきらめるのではなく、**新鮮に考える**ことができるようになります。自分はそれについて考えることができるのだと知るの、大事なことです。

興味深い例があります。日本と韓国は、これとは異なる経済モデルを持っています。政府は、大部分の資本が確実に国内に投資されるようにします。ビジネス界の中には、実際に信じられないくらい裕福になる人がいますが、政府はその資本が確実に国内に投資されるようにするのです。韓国では、政府は早くからビジネス界の人々にこう言ってきました。「あなた方はしたいことを何でもしていいし、私達はそれを支援する、しかし資本を国外に流したら檻の中に入ることになる」と。これは私たちの経済モデルとは非常に異なっています。そしてこれはとてもうまくいくのです。しかし、こういったことをアメリカの新聞で目にすることはないでしょう。なぜでしょうか。私たちの政府は全てを開放するのがいいことだと思っているからです。ですから、世界のどこかの少数の個人投資家が全てを買い占めてしまうことができるのです。政府が何かを築き上げるのは、よその全ての人のためです。政府は国内からの投資に留まることをしません。

私は、こういった状況は変わると思っています。それは、私たちはこれ以上、人々を何であれ仕事からはじき出すわけにはいかないからです。変化のプロセスは起こりつつあります。今はまだ、この変化を定義するような枠組みは存在しません。ですから、政策作成者はまだそのことを考えていないのです。しかし彼らは、考えるようになるでしょう。彼らは、軍事戦略がどうしてうまくいかないかについては、すでに考えているのですし。

合衆国は、日本や韓国が経済を「作り直し」「開放」するよう、多大なプレッシャーをかけていますが、これらの国々はそれに抵抗してきました。これらの国々は、「私たちには自分のモデルがあるのだし、自分の国を自分で築き上げているのだ」と主張してきました。韓国は、百年かそれ以上日本で使われてきたモデルを手本にしています。それは、内側から自分の国を築き上げるモデルです。

人々が新聞を読もうとしないことには、もっともな理由があります。一つには、ニュースはしばしば私たちを気分悪くさせます。また、私たちは自分がそこに書いてあることに対して無力だと感じさせられます。新聞は、ただ平凡

で退屈なものに感じられることもあります。あらゆる物事が賛成と反対という視点から切り取られてしまいます——しかしそれはどちらも、明らかによくないのです。例えばあなた方は、子どもはほうっておいて母親を支援した方がいいと思うのでしょうか、それとも、母親はほうっておいて子どもを支援した方がいいと思うのでしょうか。しかしなぜ、そのどちらかを選ばなければいけないのでしょうか。あなたは望みのない戦争を続けることに賛成でしょうか、それともあきらめて軍隊を引き上げて、その国をひどい困惑の有様にすることに賛成でしょうか。もちろん、もし選ばなければならぬなら、私は彼らを引き上げた方がいいと思うのですが、明らかに大事なものはそこではありません。なぜ、民衆への軍事的爆撃か、そうでなければ何もしないということになるのでしょうか。

私たちは莫大な経済力を持っていますが、その恩恵はほとんどの人には届いていません。私たちが同盟を結ぶ発達途上国のほとんどでは、政府は人々に対して最低限のサービスさえ供給することができません。イスラム世界のほとんどでは、この種の統制は完全に失敗してきました。供給されているサービス、医療、教育、衣料、食料は、西側諸国に対抗して人々をまとめようとしているグループによるものだけです。ある人の見積りによると、そのような国々のうちには、そうしてできた学校が3万もある国があります。たった一つの国の中にです。頼れるのがこういったグループだけである限り、人々が今あるモデルしか支持しないことを責められるのでしょうか。彼らに衣料や教育を提供する他の道もおそらくあるでしょう。しかし不幸なことに、そのような努力はいまだ、考慮に値するほどの規模とはなっていないのです。

新聞を読む時には、次々と現れる重要な事柄を注意して拾い上げなければなりません。さらに、それを覚えておく必要があります。それらの事柄は、二度と言及されないでしょうから。そうしてはじめて、意識的に、あらかじめ切り取られた選択肢を超えてきめ細かく考えはじめることができるのです。

私が主張しようとしているのはこういうことです。物事が切り取られるやり方では、どちらを選んでも悪いことにしかならないということを、私たちはあらかじめ知ることができます。あなた方が殺そうと思うのがあの人たちか、それともこの人たちか、彼らは私たちに選ばせようとするのです。私は「そんなやり方はくたばってしまえ」と言いたい。しかしそれから、私たちは何らかの新しいやり方で、そういった物事を考えるようにしなければなりません。「それは本当に意味があるだろうか」と問わなければなりません。

私たちが発展させたもっとも新しいプロセスは TAE です。これは人々に、本当に新鮮に考えることを教えるものです。言いたいのは、「あなたは新鮮に考えることができる！」ということです。私たちが学校で習ったのは逆のことでした。私たちは、新鮮に考えるようには期待されていませんでした。私たちは 20 ほどの概念を覚えて、その中で再構成をしつづけることだけを期待されていました。それだけが、いい成績をもらうための唯一の方法だったのです。私たちはそういうことはとてもよくできるようになりました。しかしそれは、あまり人の心に訴えかけたり人を奮い立たせたりはしません。

考えるというのは、そういうこととは別のことなのです。考えることはフォーカシングに似ています。しかしフォーカシングでは、私たちはたいていある特定の状況を扱います。考えることにおいては、私たちはこう言うでしょう。「さて、このことは、どんなふうによくないのかな…これをするかあれをするか、そのどちらかを期待されているっていうことは。そういうものであるわけがないんだ。なぜ自分は、これはそういうものじゃないと感じるんだろう？」と。この時、あなた方はすでに何かに触れています。もしあなたが新鮮な言葉をあふれでるままにできれば、その事柄の別の面を展開することができるのです。あなた方はこう言うでしょう、「ああ、5 つの物事があるんだ——前は『えーと』しかなかったのに。今は 5 つの物事がある。並べてみよう、1、2、3、4、5…ああ…6 つ目がある。さて、どうやったらこの 6 つがうまく一緒に進んでいくかな」。私たちは、**こういったことに関して**、人々が考えることを可能にする方法を知っているのです。

もちろん、全ての人が考えることを望んでいるわけではありません。それはそれでいいのです。TAE は考えるためだけにあるものではありません。TAE は、自分が**どんな状況の中で生活しているのか**を言葉にすること——そして、自分自身の言葉を聞くこと——も可能にするのです。今、社会一般の言葉は、体験の複雑な質を表現するために、限られた枠組み categories しか持っていません。そして私が終わりにしたいと思っているのは、枠組みによって考えることなのです。私は、私が出発したところに戻りたいと思うのです。

今お話ししたすべての考えが、私たちにとって大事なものは **枠組み的思考** によっては得られないということに気づかせてくれます。それに気づくのに、大した時間はかかりません。他の地域の人々の現実、私たち自身の現実、わが子どもたちの現実、あるいはあなたの才能のように独特で名づけがたい何か、あなたがこうしていきたくて深く望んでいること、これらはすべ

て(幸運なことに!)現存する枠組みには当てはまりません。それは、グラフの上に細切れにされて姿を現しはしません。そういうふうに姿をみせるものではないのです。ですから私たちは、与えられた枠組みに留まらなくていいのです。実際、私たちはその中に留まり続けることはできません。

そして、私たちはあきらめてはいけません。物事は変化しており、それもとでも興味深く変化しているのです。「経済」にはまり込んだり、自分という人間が「神経学」から成り立っていると考えたり、人々が作り上げた素敵な分析ツールのひとつにとらわれてしまったりしなければ、私たちはその変化について考えることができます。全てを管理する立場にある人々は、今はまだ枠組みで考えています。しかし、今物事があまりうまくいっていないからといって、希望をなくさないでください。それは変わりつつあります。 以上です。ありがとうございました。